

留学したいあなたに必要な 事前準備の豆知識

あなたの英語力を測る英語テストのTOEFL®、IELTS

アメリカやイギリスなど海外の大学、大学院への進学は、日本とは状況が違います。日本の入学試験に当たるものではなく、その代わりに入学審査の基準として、高校・大学の成績(アメリカの場合はGPA)、英語力を測るTOEFL®、IELTSなどの英語テストのスコアを大学に提出します。その他大学側が求めるエッセイや推薦状、また十分な留学資金があることを証明する銀行残高証明書などを添えて入学を申請します。ここでは、あなたの英語力を測る代表的な英語テストであるTOEFL®、IELTSについて紹介します。また最近では、英検(2級以上)を留学時の入学資格条件として認めている大学も増えてきましたので、事前準備の参考にしてください。

テスト	TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)	IELTS (International English Language Testing System)
内容	英語を母国語としない留学生などを対象とした英語力判定テスト。主にアメリカ、カナダの2年制、4年制大学、大学院、一部の専門学校を出願する際にスコア提出を要求される。現在日本ではインターネット版テストのTOEFL iBT® (Internet Based Testing) が受験できる。ペーパー版テストのTOEFL PBT (Paper Based Testing) は2007年11月以降実施されていない。	イギリス、オーストラリア、ニュージーランドの高等教育機関への留学の際にスコア提出を求められる。イギリスやオーストラリア、ニュージーランドなど、英語圏の国ではこちらが主流。Listening, Reading, Writing, Speakingの各能力を審査する記述式テストで、大学などで学位取得を目指す学生を対象としたAcademic Modulesと、高校や職業訓練プログラムを目指す学生や移住審査希望者向けのGeneral Training Modulesの2種類の試験がある。
試験科目	リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング	リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング
回答方法	インターネット(試験会場で各自1台割り当て)	筆記試験
スコア	0~120	1.0~9.0
合格レベル	アメリカ2年制大学合格レベル:スコア45~46 アメリカ4年制大学合格レベル:スコア61~	カナダ・イギリス・オセアニアの大学合格レベル:スコア6.5~
受験料	US\$235~275(締切日によって異なる)	25,380円
申し込み・問い合わせ先	実際の日程、試験会場についてはETS®のホームページ参照 www.ets.org/jp/toefl/	実際の日程、試験会場については日本英語検定協会のホームページ参照 www.eiken.or.jp/ielts/

各種英語テスト点数換算表(目安)

TOEFL iBT® (インターネット版)	TOEFL pBT® (ペーパー版)	TOEIC®	IELTS	英検
120	673~677	990	9.0	1級
119~	670	990	8.5	1級
117~118	660~667	990	8.0	1級
109~116	630~657	970~990	7.5	準1級
100~108	600~627	870~970	7.0	準1級
90~99	577~597	820~870	6.5	準1級
80~89	550~573	740~820	6.0	準1級
69~79	521~549	600~740	5.5	準1級
61~68	500~520	550~600	5.0	2級
52~60	470~499	500~550	4.5	2級
45~51	450~469	450~490	4.0	準2級
33~44	400~449	300~440	3.5	準2級
29~32	391~399	291~299	3.0	準2級
20~28	390	270~290	2.5	準2級
12~19	350~389	260~269	2.0	準2級
-	-	100~259	1.5	準2級
-	-	-	1.0	-

※TOEFL cBT(コンピューター版)は2006年9月に終了しました。
※各種英語テストはそれぞれ必要とする目的が違うため特点を単純に換算できません。上記の表はあくまで目安としてお考えください。

あなたの学力を測るGPA (Grade Point Average)

アメリカの大学へ出願する際には、GPAの提出が必要になります。GPA(Grade Point Average)とは、アメリカの大学などで導入されている成績評価システムで、学業成績をポイントに換算した平均値のことです。日本の高校の成績を以下のような0~4の5段階のポイントに置き換えます。日本の大学から編入する場合は大学の成績も必要です。日本と同じく、難関大学ならばより良い成績が求められますから、人気校、難関校を目指す人は高校(または大学)時代にどの教科もまんべんなくよい成績を修めることが必要です。また不可も0ポイントとして加算されるため、全体の点数に影響します。必要とされるGPAの目安としては、アメリカの2年制大学でGPA2.0以上、4年制大学で2.5以上です。またイギリス、カナダ、オセアニアは日本の5段階評価の成績を平均値で評価します。

GPAの計算方法例

①日本の学校の成績をGPAのポイントに換算します

	5	4	3	2	1
日本の高校・大学の成績 (5段階評価の場合)	Excellent (90~100%)	Good (80~89%)	Average (70~79%)	Passing (60~69%)	Failing (0~59%)
日本の高校・大学の成績 (4段階評価の場合)	優	良	可	(準可)	不可
換算ポイント	A	B	C	D	F
	4	3	2	1	0

②換算したポイントを合計して総単位数で割ったものがGPAです

GPA=【課目1+課目2+課目3+課目4……のポイント】÷総単位数(全科目の合計)